

# 朝活3つでSTEP UP のむライフ！

## 生活リズム確立への取り組み推進

大阪府岸和田市立野村中学校

教諭 中内 昌恵  
教諭 藤原 尊士  
養護教諭 西 美穂子



# 岸和田市立野村中学校

## 1. 学校規模

(平成24年度)

1年生	135人
2年生	121人
3年生	141人
計	397人

## 2. 地域の特徴

学級数	12クラス
支援学級	2クラス

岸和田市の西側に位置し、臨海道路に隣接して学校がある。昔は港があったが、今は埋め立てられ工業地帯となっている。校区には2つの小学校がある。

## 3. 生徒像

2つの小学校から入学してくるが、1クラス30人と5人ほどの割合の4クラス。生徒達は人なつっこい雰囲気を持っている。幼少の頃から旧知の間柄である生徒が多い。

### 校訓

「継続は力なり」



### 学校教育目標

「豊かな人間性を持ち、たくましく生き抜く生徒」



野村中学校

教育目標：豊かな人間性を持ち、たくましく生き抜く生徒の育成

めざす具体的な生徒像

自ら学び、自ら考える力をもつ生徒（知）

豊かな心を持ち、人・物・時を大切にす生徒（徳）

体力向上、心身の健康保持に努める生徒（体）

指導の重点

- ・授業にチャレンジ
- ・主体的学習スタイル確立
- ・意欲的な家庭学習の充実
- ・授業規律の確立
- ・授業研究と指導方法工夫
- ・学力向上への授業改善
- ・朝の読書活動の充実
- ・『読む書く聞く』力の充実

- ・優しさと思いやりの心
- ・チャイム着席
- ・正しい言葉遣いと礼儀態度
- ・班員全員で清掃活動
- ・支え合い助け合う自治活動
- ・を目標とした班活動の指導
- ・自尊感情を育て自他の人権を大切にす教育の充実

- ・望ましい生活習慣の確立
- ・生徒会活動、学級の活動、加
- ・部活動等への積極的参加
- ・文化・奉仕活動の充実
- ・スポーツと学校保健の充
- ・食育と学校生活の充
- ・生徒会と学級の活動の結
- ・班活動を中心に教育活動

情報発信  
情報公開  
説明責任

連携・協力・交流

提言  
参加  
評価

P T A

地 域

学校協議会

市民協議会

(すこやかネット野村)

学校支援地域本部

情報発信・・・P T A 新聞、学校だより、学年通信、学級通信、保健室便り、進路通信  
提言評価・・・学校教育自己診断、P T A 実行委員会、学校協議会、すこやかネット野村

朝活3つで STEP UP のむライフ！

生活リズム確立への取組み推進

活動の名称

大阪府 岸和田市立野村中学校3つの朝運動

団体等の名称

大阪府 岸和田市立野村中学校

活動に含まれる（連携している）団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校  
 中等教育学校 特別支援学校 児童館 公民館  
 図書館 P T A 子育て・教育支援団体、N P O  
 企業・事業所 病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・  
 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会  
 行政（教育委員会） 行政（保健・福祉部局）  
 行政（その他の部局）  
 その他（学校支援地域本部、市民協議会、保護司、更生保護女性会）

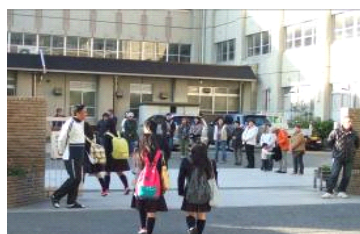
## 活動の概要

### 活動の目的・趣旨

「3つの朝運動」は、学校が家庭・地域と連携して朝の生活習慣づくりを通して学習活動への意欲や姿勢をはぐくむ取り組み。早寝早起きをし、朝ごはん、朝のあいさつ、朝の読書のリレーで学校生活をスムーズにスタートさせる

### 活動の目的・趣旨

#### 朝のあいさつ



生徒、教職員、PTAに加えて、多彩な地域人材があいさつ活動に参加。

(学校支援地域本部、校区市民協議会、保護司、更生保護女性会など)

## 朝読書

平成14年度より、全校一斉に毎朝10分間の読書活動を継続して展開。

学校支援地域本部と連携し、冊子「読書のすすめ」を発行し全生徒に配布。

家庭での読書習慣の定着を図る「家読(ウチドク)」の推進。



## アンケート結果

### <朝読書>

A. 朝読書をきちんとできている。

1年	2年	3年
85.7%	89.9%	95.9%

B. 本を読む習慣がついた。

1年	2年	3年
60.0%	62.0%	56.2%

C. 落ち着いた気持ちで授業に望めるようになった。

1年	2年	3年
79.0%	73.4%	83.5%

### 意見・感想

- ・みんな本を静かに読んでいる。
- ・毎日10分間 短時間ちょっとずつすることで、読書が身についた
- ・本を読むのが嫌いだったけど、今は楽しい。
- ・朝から読みたい本を読めるのがうれしい。
- ・マンガを読めるようにしてほしい。
- ・学級文庫が少ない。もっと本をふやしてほしい。
- ・読む時間が長い。(1年)



# 朝ごはん

朝ごはんを食べている生徒は多いが、食事の内容に課題があり、生徒にもっと興味を持たせるため身近な題材で食育の学習に取り組む。

各教科の授業において、「食育」を重視した学習内容を展開。

企業のCSR活動による出前授業を積極的に取り入れた食育活動を展開。

「保健だより」や市内フリー活動栄養士会発行のプリント等による保護者を対象とした啓発活動。

## 授業の例

### 1. 単元名

「食生活の課題」

### 2. 目標

生徒一人ひとりが、将来健康に生活することを目指して、食生活について正しく学び、自らの健康を自分で管理できる意識を養う。



## 日本乳業によるミルク教室



## ミルク教室レポート



## イオンリテール社による食育授業



# PTAによる文化講演会



## 活動の成果と今後の展望

朝活3つの長期的・継続的な取り組みと本校が行っている班活動の取り組みが効果的に連携し、生徒の姿勢が変容。落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送ることができるようになり、不登校生や遅刻者の減少等、具体的な成果が表れている。

発表や実習での取り組みなど、体験的学習の場づくりの工夫により生徒自身が「食」の学びに主体的に関わる姿勢が育ってきている。

学校支援地域本部、校区市民協議会が核となり、地域ボランティアをはじめ地域の方々が学校と連携することにより、地域をあげて子どもの生活習慣づくりの確立に向けた取り組みが進められている。

今後も学校・家庭・地域・企業と連携した生徒の生活リズム確立への取り組みを継続し、組織的・系統的・計画的に推進していく。